

仏生山まるごと動物園 ～こどもたちと創る地域芸術祭～

代表者 宇野早織（経済学部経済学科2年）

1. 目的と概要

このプロジェクト事業では、仏生山地区をひとつの動物園として見立て、「仏生山まるごと動物園」をイベント的に開園した。具体的には、子供たちや地域住民が私たち佛生山らぼプロジェクトに所属する大学生とともに、動物オブジェを制作し、制作した動物オブジェを仏生山地区の各所で展示した。今年度で3回目となる仏生山まるごと動物園では、1回目や2回目よりも動物オブジェの種類や数、動物オブジェを設置する場所を増やし、レベルアップを図った。各回の動物オブジェの種類、数、設置場所は以下のとおりである。

- 第1回（2022年度）： 4種類、27体、10カ所
- 第2回（2023年度）： 15種類、41体、15カ所
- 第3回（2024年度）： 27種類、55体、22カ所

この仏生山まるごと動物園の開園を記念して、開園日には、展示してある動物オブジェの近くにクイズを設置し、参加者がそれを解きながらまちなかを巡ってもらうというイベント「まるごと仏生山わくわくクイズラリー」を開催し、より多くの人に関心をもっていただけるように工夫した。

このプロジェクト事業の目的は以下に示す3つである。

1つ目は、芸術を通じた世代間交流を促進することである。この目的の達成のために、動物オブジェを子供たちや大学生だけで制作するのではなく、様々な年代の地域住民にもご協力いただいた。

2つ目は、多くの人々に仏生山を訪れてもらい、その魅力を知ってもらうことである。仏生山の様々な場所に子供たちや地域住民が制作した動物オブジェを設置することで、仏生山地区内外の多くの人に、仏生山地区に関心をもっていただいた。

3つ目は、仏生山地区の方々に、私たち佛生山らぼプロジェクトを知ってもらうきっかけをつくることである。プロジェクトを知っていただくことで、仏生山が抱える世代間交流の少なさや、将来の担い手不足という課題を解決する手助けに繋がると考えた。

2. 実施期間（実施日）

令和6年7月1日から令和7年3月1日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

この事業で得られた成果は以下に示す3つである。

1つ目の成果は、世代間交流の場を創出できたことである。動物オブジェの制作にあたって「仏生山女性の会」や「仏生山コミュニティ協議会元気の素部会」など、仏生山地区の方々にご協力いただき、子供たちと地域の大人が話し合う機会を設けることができた。また、動物オブジェを置かせていただく施設や店舗のいくつかには子供たちと一緒に交渉にうかがった。実際に交渉して許可をいただくという普段の生活では体験できないことを経験し、子供たちの社会性を育むという点でも成果があったと考えている。

2つ目の成果は、仏生山まるごと動物園の開園初日に、まるごと仏生山わくわくクイズラリーを開催することで、子供から大人まで多くの方々の関心を集められたことである。イベントの参加を通して、楽しんでいただきながら仏生山の魅力を伝えることができた。クイズラリーに参加していただいた参加者から「子供と一緒に楽しみながら仏生山について知ることができた」や「たくさん回り、新しく知ったお店もあった」、「クイズの内容が面白かった」などの感想をいただいた。多くの方々が仏生山について魅力を再発見し、理解を深められる機会の提供に繋がったと考えている。

3つ目の成果は、私たち仏生山らぼプロジェクトを知ってもらう良いきっかけになったことである。昨年度に引き続き、仏生山まるごと動物園を開催し、地域の方々から応援のお声かけをいただいたことや、イベントの参加者が増えたことから、地域の方々の認知度が上昇していることを実感できた。地域の方々から「今年の開催も楽しみにしている」や「仏生山を盛り上げられるような活動を私たちもしたい」などの意見も聞くことができた。また、昨年度よりも多くの店舗に協力いただき、交流の輪を広げることができて、私たちの活動が多くの方に浸透するようになったと感じる。

【動物オブジェ作成】



【動物オブジェ設置交渉】



【動物オブジェ設置】



【まるごと仏生山わくわくクイズラリー】



4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業により、地域住民に香川大学の地域活性化に向けた取り組みを知っていただくことができた。さらに昨年度よりもご協力いただいた施設や店舗が増えたことから、この活動がより地域に根付いたものとなってきた。このような活動を通して、私たちのプロジェクトや、それを支える香川大学が「地域に根差した学生中心の大学」であることを、より多くの方々に知っていただくことができた。

また、地域社会に与えた影響としては、昨年度に引き続き、この活動を読売新聞に掲載していただいたことから、仏生山に興味を持っていただくきっかけを提供し、仏生山を訪れる方々の世代を広げるとともに人数の増加に繋げることができた。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

今回の活動を通して、私たちの活動が多く地域住民に支えられていることを改めて実感した。今回の活動では、仏生山地区の子供たちや大人の方々、施設や店舗の関係者など、多くみなさんのご協力があったからこそ、活動を進めることができた。佛生山らぼプロジェクトは、「仏生山こどもらぼ」を通じて、小学生と大学生が主体となって活動を行っている。しかし、子供たちが仏生山こどもらぼに参加していることは決して当たり前ではなく、保護者をはじめ、多くの関係者のご理解とご支援があってこそ、仏生山地区で活動ができていくことに改めて気が付いた。また、仏生山地区コミュニティ協議会元気の素部会や、仏生山女性の会などの仏生山地区の方々には、仏生山まるごと動物園の動物オブジェ制作にご協力いただいた。さらに、22カ所の仏生山地区の施設や店舗には、動物オブジェ展示やクイズラリーのクイズ掲示にご協力いただいた。このように、仏生山地区の様々な方々の支えがあってこそ、今回の活動は成り立っている。私たちを支えてくださっているの方々への感謝の気持ちを忘れず、今後も活動を継続し、仏生山地区を盛り上げることで、その恩返しをしていきたいと強く感じた。

また、今回の活動を通して、私たち自身の成長を実感した。地域の関係者との日程調整や打ち合わせを、電話やメール、対面で行ったり、イベントで参加者とやり取りをしたりするなかで、コミュニケーション能力を養うことができたと考える。直接会話を交わすことで、地域の方々とのつながりを実感し、活動がより楽しくなっただけでなく、地域の方の支えのありがたさを改めて知ることができた。さらに、地域の方々の協力を得ながら活動を進めるなかで、余裕のある計画を立て、それに沿って活動を進めていくことの大切さも学んだ。今後は、より計画的に準備を進め、地域の方々と連携しながら、より充実した活動を目指していきたい。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今回の活動の反省点としては、主に2つある。

1つ目は、まるごと仏生山わくわくクイズラリーのクイズの掲載場所に関する点である。開催当日、動物オブジェの設置場所のシャッターが閉まっていたため、クイズが確認できない事態が発生した。今後の対策として、設置時に外から見える場所にクイズと動物オブジェを配置することを徹底するとともに、設置をお願いする施設や店舗と事前に綿密な調整を行う必要がある。イベント参加者も協力者も、どちらも楽しめるよう、企画を提案した私たちが事前確認を徹底することが求められている。

2つ目は、動物オブジェの構造が壊れやすかった点である。オブジェは主に紙粘土で作成されており、細かなパーツが破損しやすかった。そのため、運搬時にいくつかのオブジェが壊れてしまった。昨年度より設置場所を増やしたことで、オブジェの制作数も増加し、その結果、制作に多くの時間を費やしてしまい、「量」を優先して制作してしまっただけでなく、今後の対策としては、「質」を重視し、作業工程を明確にするなど計画的に進めることで、制作する楽しさを味わいながら活動を行いたい。また、子供たちにも制作の楽しさを感じてもらうために、私たち自身が余裕をもって準備を進め、子供たちと積極的にコミュニケーションを取りながら、楽しく制作することを心がけたい。

7. 実施メンバー

代表者	宇野 早織 (経済学部 2年)	
構成員	小松 真子 (経済学部 4年)	金山 壮一郎 (経済学部 1年)
	門脇 優夢 (経済学部 4年)	北岡 優 (経済学部 1年)
	小林 龍生 (経済学部 4年)	中野 雅子 (経済学部 1年)
	井田 雄揮 (法学部 4年)	瀬尾 凜花 (法学部 1年)
	伊勢田 乃愛 (創造工学部 4年)	多田 実咲 (法学部 1年)
	平田 智望 (創造工学部 4年)	谷 美咲 (法学部 1年)
	徳永 来暉 (創造工学部 4年)	藤岡 滯 (法学部 1年)
	大枝 俊介 (創造工学部 4年)	丸山 航大 (法学部 1年)
	三井 美乃 (創造工学部 3年)	森山 紘羽 (法学部 1年)
	植条 美祐紀 (経済学部 2年)	寺崎 初花 (創造工学部 1年)
	葭本 和波 (教育学部 2年)	山本 大雅 (創造工学部 1年)

8. 執行経費内訳書

配分予算額		179,469円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
旅費(仏生山—瓦町(往復))	13	720	9,360	
旅費(仏生山—瓦町(往復))	5	700	3,500	ICカードのため、片道料金から10円値引き
旅費(仏生山—瓦町(片道))	5	360	1,800	
旅費(仏生山—瓦町(片道))	2	350	700	ICカードのため、普通運賃から10円値引き
旅費(仏生山—高松築港(往復))	5	720	3,600	
旅費(仏生山—高松築港(片道))	3	360	1,080	
旅費(仏生山—太田(往復))	1	400	400	
インクカートリッジ/カメ(6色パック)	2	4,719	9,438	
ヘビーウェイトTシャツ インディゴ	3	2,794	8,382	
A4フライヤーチラシ印刷	300	10	2,870	
A4フライヤーチラシ印刷	200	21	4,210	
マット水彩絵の具 15色	5	1,388	6,940	

紙粘土 標準 1 k g	65	288	18,720
シルバーキング	5	219	1,095
刷毛 ホビー工作用	8	139	1,112
書道半紙	4	299	1,196
平筆	7	199	1,393
工作ニススプレー	3	1,098	3,294
消費税		3,375	3,375
(マット絵の具～ニススプレー)			
印刷A4フライヤー・チラシ印刷	3500	5	16,870
印刷A4フライヤー・チラシ印刷	200	28	5,650
印刷A4フライヤー・チラシ印刷	700	22	15,340
クーネックスウェット	9	2,658	23,920
コピー用紙 A4 普通紙	3	499	1,497
折りたたみコンテナ	1	1,598	1,598
ステンレスバツクルコンテナ	2	1,398	2,796
NCボックス 容量	7	499	3,493
NCボックス	4	699	2,796
学童工作ばさみ	3	419	1,257
ごみ袋 45L (1パック100枚)	1	649	649
メンディングテープ ディスペンサー付き	3	169	507
ラミネートフィルム A4 100um (1箱100枚)	1	998	998
カッターマット A4	2	299	598
名札ケース ソフト横名刺	3	919	2,757
カッター A型	3	559	1,677
名札用クリップ	3	899	2,697
木工用ボンド	3	279	837
スティックのり	2	429	858
吊り下げ名札 名刺用 赤色	2	699	1,398
色画用紙 A410色	3	299	897
画用紙 A4	1	1,100	1,100
クラフトテープ	3	189	567
PPひも	2	239	478
消費税(コピー用紙～PPひも)		2,947	2,947
Wクリップ 小	1	24	24
Wクリップ小小	1	17	17
ゼムクリップ小(23mm) バラ	2	1	2

ハードクリヤーホルダー<モッ テ>	1	281	281	
クリヤーホルダー(ダブルポケ ット)	1	498	498	
レクリエーション保険(1/26)		2,000	2,000	
合 計			179,469	